

稼働の少ない区画を時間貸しで収益化 スペース活用の最新事例に迫る

スペース・空室収益化 最新動向

倉庫の時間貸しが好評 パーティからロケ活用まで

イーソーコドットコム(東京都港区)は、ロケ地やイベント会場として倉庫を紹介するプラットフォーム「イーソーコ」を展開している。

同サービスは2016年、イーソーコグループのリソーコ(東京都港区)が開始。物流の倉庫から倉庫をリノベーションした施設に至るまで、倉庫に特化した物件を掲載している。港区で管理する「第二東運ビル」や「第三東運ビル」をはじめとする18物件と期間限定掲載の3物件の紹介を行っている。



「株式会社wazacule」の15周年記念動画でフリースペースが使われた。エントランスや廊下なども活用することで、一度に様々なシーンが撮影できる。

「です」と話す。同グループではこれまで、多くの倉庫物件のリノベーションを手掛けてきた。倉庫の魅力は、普通のビルではできない個性的なニーズに対応できることだ。「リソーコ」に掲載物件の例を挙げる



「wazacule」(ワザクレ)様の15周年記念動画の撮影で、当社の紹介する7つのスペースを使ってくださいました。多くの物件が臨海地区に固まっていたため、物件間の移動がしやすいのもご評価いただいているポイントです(浅野氏)。

「第二東運ビル」や「第三東運ビル」をはじめとする18物件と期間限定掲載の3物件の紹介を行っている。レンタルソーコの運営を担うシェアリング事業部・事業部長の浅野真由氏は「『レンタルソーコ』では倉庫のデッドスペースや、テナント付をしている間の短期間だけなど、スポット的に収益化することができず。映画・ドラマ・企業CMなどの撮影や大人数でのパーティ、イベントに使用されるケースが多い。また、子安にある冷凍倉庫では、普通のレンタルスペースでは味わえないマイナス20〜30度の世界を体感できる。ヤード部分と倉庫脇の河川沿いのスペースも利用可能で、倉庫内と合わせて、屋内外をまとめて撮影したいという需要にも応えられる。」

「最近の事例では、ダンス関係のコンサルティングを手掛けるwazacule(ワザクレ)様の15周年記念動画の撮影で、当社の紹介する7つのスペースを使ってくださいました。多くの物件が臨海地区に固まっていたため、物件間の移動がしやすいのもご評価いただいているポイントです(浅野氏)。

撮影のほか、学生の飲み会や鬼ごっこ団体の活動など、一風変わった用途にも対応している。最近海外ドラマの撮影ニーズも出てきており、さらに期待の膨らむ市場と考えられる。

代表取締役の早崎幸太郎氏は「物流不動産ビジネスを認知してもらったためのきっかけとして、レンタルソーコの運営を進めています。来期の売り上げ目標7000万円の達成に向けて、様々なユーザーに訴求していきたいと考えています」と意気込んだ。



▶早崎代表(左)と浅野氏